

小学部「居住地校交流」

小学部では、それぞれの児童の居住地にある小学校との交流を行っています。この「居住地校交流」は、①居住地の児童・教職員・保護者に本校児童のことを知ってもらい、正しく理解してもらう。②地域において、本校児童がそこに住む一員として共に学び、育ち合える交流の場や内容を作っていく。③卒業後も地域社会の一員として生きていく基礎を作り上げていく。ということを大きなねらいとして取り組んでいます。

また、個々の児童にとってのねらいとしては、「いつもと違う集団の中で、周りの雰囲気を感じながら、期待をもって取り組む」ということや、「いろいろな友だちからの働きかけを受け止め、表情や身体の動き等で伝える」ことを挙げています。

内容は各小学校によって様々ですが、学校同士で自己紹介や活動発表をして見合ったり、ゲーム交流や音楽あそび、運動あそび等をとおして交流しています。夏に行う場合はプール交流、冬の場合はクリスマス会交流をすることもあります。交流会では、初めての場所・友だちに最初は緊張する様子の児童もいますが、ペアになってゲームをしたり、一緒に身体を動かして遊ぶうちに次第に打ち解けていったり、新しくできた友だちとさっそく手をつないで、一緒にゲームをする姿が見られました。

交流後には手紙でやりとりをしたり、休日に地域で偶然出会い、あいさつをしてくれた友だちがいたというようなこともありました。

保護者の方からは「みんなに名前を覚えて呼んでもらえてよかった。今後も継続してほしい。」「もっと交流の回数を増やしてほしい。」「これまで毎年行って、今年初めてみんなと一緒に活動に参加できてうれしい。」「6年間親子共々楽しい交流ができた。卒業なので交流は終わってしまうが、また地域で出会った時には声をかけてもらえたらうれしい。」等たくさんの感想をいただきました。

